

(肺癌患者に対するアテゾリズマブ併用療法におけるバイオマーカー探索) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年6月18日～2024年7月31日

〔研究課題〕

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(NSCLC)または進展型小細胞肺癌(ED-SCLC)患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究:(J-TAIL-2)におけるバイオマーカー探索研究

〔研究目的〕

この研究は、アテゾリズマブと抗がん剤を併せた治療において薬の効き方や副作用を予測することができるバイオマーカーを探ることを目的としています。

〔研究意義〕

現在、小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の有効性を事前に予測する有用なバイオマーカー(体中の生物学的な変化を定量的に把握するための指標。主に「遺伝子」と「タンパク質」に分類されます。)は特定されておらず、新たなバイオマーカーが望まれています。本研究によって薬の効き方や副作用を予測できる新しいバイオマーカーが見つければ、小細胞肺癌患者さんの個別化医療の推進につながることを期待されます。

〔対象・研究方法〕

すでに、当院 腫瘍内科にて、臨床研究「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌(NSCLC)または進展型小細胞肺癌(ED-SCLC)患者に対するアテゾリズマブ併用療法の多施設共同前向き観察研究」に参加された小細胞肺癌の患者さんの保存している腫瘍組織検体の測定・解析を行い、バイオマーカーを探索します。検体は、個人を特定する情報が含まれないように匿名化した後、測定実施機関である国立がん研究センター中央病院へ輸送され、測定されます。

〔研究機関名〕

日本医科大学を研究代表施設とする多施設共同研究で、当院を含め全国で約100施設が参加する予定です。

〔個人情報の取り扱い〕

この研究で収集するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、氏名など、個人を直接特定できる情報が当院の外部に提供されることはありません。また、この臨床研究で得られた結果は、学会や医学論文などで公表される場合がありますが、このような場合も、氏名など、個人情報に関することが外部に漏れることは一切ありません。

〔その他〕(健康保険・謝金等について、必要に応じて記載する。)

この臨床研究は、通常の保険診療として行われるものであり、参加にあたっての費用負担が通常の診療より増えることはありません。使用する薬剤や行う検査の費用、当院までの交通費などは、通常の保険診療と同様のお支払いが必要です。この研究に参加することによる謝金はありません。

対象となる患者様のご遺族の方で、ご家族の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：関 順彦

所属：腫瘍内科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 40363〕